

○ 委員長報告

1 2月定例会本会議で報告された経済企業委員長報告は、以下のとおりです。

令和元年12月定例会

経済企業委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、いずれも原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、U I Jターン就職の促進についてであります。

このことについて一部の委員から、U I Jターン就職の促進にどう取り組んでいるのか。また、情報発信の方法と具体的内容はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、平成29年度に東京と大阪に設置したふるさと愛媛Uターンセンターにおいて、職業相談や職業紹介、就職セミナーを行っているほか、昨年度創設した中核産業人材確保支援制度による、県内企業に就職した学生への奨学金返還支援、ジョブカフェ愛workと連携したインターンシップや企業と学生の交流会等の開催にも取り組んでいる。

また、今年7月から開始したLINE公式アカウントを活用して、県内外で開催する合同説明会やインターンシップ、企業と学生との交流会等の情報を発信しており、本アカウントへの登録数を増やすため、県立学校の同窓会ホームページへの掲載や県外に進学した学生等へ周知している旨の答弁がありました。

第2点は、松山・ソウル線の維持・拡充に向けた取組みについてであります。

このことについて一部の委員から、日韓関係の悪化が続く中、観光客の増大に向け、路線の維持・拡充にどのように取り組んでいるのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、松山・ソウル線の搭乗率は、韓国からのインバウンド客の減少により、9月は63%、10月は67.8%と厳しい状況が続いている。

県では、インバウンド客の回復に向け、8月にブロガーの招請(しょうせい)、11月には韓国旅行会社を対象とした視察ツアーや商談会を実施するとともに、旅行商品造成への支援を拡充したところ、早速、商品造成の動きが出てきている。

今後も、日韓関係の動向を見極めながら、旅行雑誌社の招請(しょうせい)や

ポップアップストアによるPR等、インバウンド誘客に取り組むとともに、アウトバウンド対策も強化し、松山・ソウル線の維持・拡充を図っていききたい旨の答弁がありました。

第3点は、県立病院における災害派遣医療チーム、いわゆる「DMAT」の活動状況についてであります。

このことについて一部の委員から、県立病院におけるDMATの配備状況やこれまでの活動実績はどうか、また、本年10月の台風19号による災害対応のため、県立中央病院看護師がDMATとして、福島県で活動したとのことであるが、今回の活動内容やそれを踏まえ今後どのように活かしていくのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、中央、今治、新居浜の3県立病院に合計9チームを配備し、これまでに東日本大震災や熊本地震、昨年西日本豪雨災害等に出動している。

今回の台風19号では、福島県本宮(もとみや)市で、看護師1人が、情報収集や支援業務の調整を行うロジスティックチーム隊員として活動し、帰県後、災害時の患者の避難は容易でなく、日頃から準備をしておくことが重要であるとの報告を受け、県立4病院で共有し、今後の訓練等に活かしていきたい旨の答弁がありました。

このほか、

- ・ 中小企業に対する働き方改革の支援
- ・ 中国向け越境EC事業
- ・ 今治地区工業用水道事業の今治市への譲渡
- ・ 脳死腎移植

などについても、論議があったことを付言いたします。

以上で報告を終わります。